



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 日本精鉱株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5729 URL <https://www.nihonseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 憲高  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理部長 (氏名) 大西 芳太郎 TEL 03-3235-0021  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,793	121.9	2,878	648.4	2,839	614.2	1,967	620.6
2025年3月期第1四半期	4,864	28.0	384	632.5	397	401.3	272	1,120.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,981百万円 (611.3%) 2025年3月期第1四半期 278百万円 (969.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	803.84	-
2025年3月期第1四半期	111.74	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	22,898	13,571	59.3
2025年3月期	20,937	11,932	57.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 13,571百万円 2025年3月期 11,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	60.00	-	140.00	200.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	-	-	-	240.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

配当は、中間および期末の年2回を基本方針としております。ただし、2026年3月期の連結業績予想は通期のみの作成であるため、中間・期末それぞれの配当額を個別に見積もることができず、年間配当金の総額のみを記載しております。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,900	38.6	3,380	△6.1	3,290	△6.8	2,250	△8.4	919.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

原料相場の変動による業績への影響が大きいため、年次単位で業績管理を行っております。このため、業績予想につきましては通期のみの記載としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	2,605,900株	2025年3月期	2,605,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	158,661株	2025年3月期	158,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	2,447,281株	2025年3月期1Q	2,443,183株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載の通りです。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(以下「当第1四半期」)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の動きなどにより、緩やかに回復の動きが続いています。一方、世界的な物価上昇の継続と金融資本市場の変動の影響、原材料やエネルギー価格の高止まりと円安に伴う国内物価の上昇が消費に影響を及ぼしており、加えて中国経済の先行き懸念、中東の情勢など地政学リスクの高まり、米国の通商政策など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、当社創立100周年となる2035年時点のありたい姿を想定し設定した長期ビジョンに基づき、2025年4月よりスタートした「第2の創生(創立100周年)に向けた基盤づくりのための挑戦と変革」をテーマとする3カ年の中期経営戦略において、「グループ連携の更なる強化」「既存事業の競争力強化とグローバル展開への挑戦」「最適な事業ポートフォリオの構築と新規事業の創出」「人的資本の充実とESGへの取り組み」という基本方針のもと、持続的成長と中長期的な企業価値向上に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期の売上高は前年同期比5,928百万円増収(121.9%増収)の10,793百万円、営業利益は同2,493百万円増益(648.4%増益)の2,878百万円、経常利益は同2,442百万円増益(614.2%増益)の2,839百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同1,694百万円増益(620.6%増益)の1,967百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

#### [アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、主産地である中国において、国内外のアンチモン鉱石不足や環境監査などによる地金生産の減少、太陽光パネル向け需要の拡大などにより急速に需給が逼迫し、相場が急上昇しました。また中国当局が2024年9月15日よりアンチモン地金の輸出管理を実施するとのお知らせを公表し、同年12月3日には対米輸出は原則として許可しないと発表したことを受けて、市場では最高値の更新が相次いでいます。当第1四半期の平均価格は、トン当たり約59,160ドルとなり、前年同期比約228%の著しい上昇を記録しました。円建てでは同約205%上昇しました。なお、2024年度第4四半期との比較では、ドル建てで約21%の上昇、円建てで約15%の上昇となり、上昇幅は緩やかになっております。

同事業の主製品である三酸化アンチモンには様々な用途があります。主たる用途は、プラスチック材料の難燃剤です。プラスチックは、自動車、家電、産業機械、住宅などに用いられる電化製品の電気絶縁材料として広く用いられていますが、一般に燃えやすい性質を持っています。そのようなプラスチックにハロゲン系難燃剤と共に三酸化アンチモンを添加することで、高い難燃性を付与して電気機器の短絡や劣化による発火のリスクを減らし、火災による人的被害や経済的損失を防止することに大きく貢献しています。

同事業の販売状況につきましては、製造業全般の生産がやや軟調に推移し、さらに中国などからのOEM品の調達に困難となったことから、販売数量は前年同期比73トン減少(6.3%減少)の1,090トンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、販売価格の上昇から、前年同期比5,957百万円増収(242.2%増収)の8,416百万円となりました。セグメント利益は、生産効率の改善や在庫の影響もあり、同2,610百万円増益(1,549.9%増益)の2,779百万円となりました。

#### [金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第1四半期平均でトン当たり約1,424千円となり、前年同期比9.3%の下落となりました。

同事業の主製品は、電子部品の導電材料向け銅およびその他の金属粉末、パワーインダクタ向けの鉄系合金粉、自動車部品や産業機械部品などの粉末冶金製品向けの焼結材料としての金属粉末で、各種製品の高機能化や利便性に貢献しています。

また、DXの推進、IoTやAIの活用、5G対応端末の普及、自動車のEV化やエレクトロニクス化の流れなどを背景に電子部品のニーズは高まっています。

電子部品向け金属粉末の販売状況につきましては、スマートフォンやパソコン市場は堅調に推移しましたが、自動車関連市場では競合が激しく、販売数量は前年同期比92トン減少(29.6%減少)の218トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉末の販売状況につきましては、自動車部品向けが低調であったことから販売数量は前年同期比68トン減少(18.8%減少)の295トンとなりました。

全体の販売数量は前年同期比160トン減少(23.8%減少)の513トンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、販売数量の減少等により、前年同期比34百万円減収(1.4%減収)の2,363百万円となりました。セグメント利益は、受注減少による操業度低下等から同117百万円減益(57.5%減益)の86百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業等の当第1四半期の売上高は13百万円、セグメント利益は4百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産合計)

当第1四半期末の資産合計は、前連結会計年度末比1,960百万円増加の22,898百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末比2,035百万円増加の17,008百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品が218百万円、現金及び預金が151百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,683百万円、商品及び製品が703百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比75百万円減少の5,889百万円となりました。これは主に有形固定資産が57百万円減少したことによるものであります。

(負債合計)

当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度末比321百万円増加の9,326百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末比407百万円増加の7,949百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が781百万円、未払法人税等が264百万円減少したものの、短期借入金が1,098百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比85百万円減少の1,376百万円となりました。これは主に長期借入金が98百万円減少したことによるものであります。

(純資産合計)

当第1四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末比1,638百万円増加の13,571百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,967百万円増加及び配当により342百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判断した時点で、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,128,680	1,976,879
受取手形及び売掛金	5,109,073	6,792,204
商品及び製品	3,823,709	4,527,494
仕掛品	404,737	438,750
原材料及び貯蔵品	3,100,380	2,881,890
その他	423,614	414,752
貸倒引当金	△17,346	△23,213
流動資産合計	14,972,851	17,008,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,483,130	2,469,843
機械装置及び運搬具(純額)	937,612	897,983
土地	1,436,191	1,436,191
その他(純額)	424,175	419,997
有形固定資産合計	5,281,110	5,224,015
無形固定資産	136,406	131,368
投資その他の資産	547,184	533,908
固定資産合計	5,964,701	5,889,292
資産合計	20,937,553	22,898,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,240	1,607,120
電子記録債務	333,459	429,653
短期借入金	2,965,100	4,063,100
未払法人税等	1,121,760	857,318
賞与引当金	252,515	120,486
その他	481,238	872,253
流動負債合計	7,542,314	7,949,932
固定負債		
長期借入金	726,400	627,500
退職給付に係る負債	365,295	362,007
資産除去債務	38,391	38,519
その他	332,310	348,605
固定負債合計	1,462,397	1,376,632
負債合計	9,004,711	9,326,564
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	580,107	580,107
利益剰余金	10,412,225	12,036,817
自己株式	△149,730	△149,956
株主資本合計	11,860,730	13,485,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,382	71,909
為替換算調整勘定	17,728	14,481
その他の包括利益累計額合計	72,111	86,391
純資産合計	11,932,841	13,571,486
負債純資産合計	20,937,553	22,898,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,864,965	10,793,296
売上原価	4,185,199	7,553,836
売上総利益	679,766	3,239,460
販売費及び一般管理費	295,158	361,166
営業利益	384,607	2,878,293
営業外収益		
受取配当金	3,341	4,878
為替差益	14,272	—
受取保険金	—	5,049
その他	5,015	4,137
営業外収益合計	22,629	14,064
営業外費用		
支払利息	8,262	18,109
為替差損	—	32,082
休止鉱山費用	1,354	2,072
その他	1	253
営業外費用合計	9,618	52,518
経常利益	397,618	2,839,840
特別利益		
固定資産売却益	835	—
特別利益合計	835	—
特別損失		
固定資産除却損	106	346
特別損失合計	106	346
税金等調整前四半期純利益	398,347	2,839,493
法人税、住民税及び事業税	100,202	817,352
法人税等調整額	25,154	54,930
法人税等合計	125,357	872,282
四半期純利益	272,989	1,967,211
親会社株主に帰属する四半期純利益	272,989	1,967,211

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	272,989	1,967,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,642	17,526
為替換算調整勘定	1,946	△3,246
その他の包括利益合計	5,589	14,279
四半期包括利益	278,578	1,981,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,578	1,981,491

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,459,234	2,397,802	4,857,036	7,928	4,864,965	—	4,864,965
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	13,799	13,799	408	14,208	△14,208	—
計	2,459,234	2,411,601	4,870,835	8,337	4,879,173	△14,208	4,864,965
セグメント利益	168,438	204,267	372,705	5,870	378,576	6,030	384,607

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額6,030千円はセグメント間取引の消去6,030千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	8,416,590	2,363,620	10,780,210	13,086	10,793,296	—	10,793,296
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	14,199	14,199	414	14,614	△14,614	—
計	8,416,590	2,377,820	10,794,410	13,500	10,807,911	△14,614	10,793,296
セグメント利益	2,779,145	86,793	2,865,938	4,150	2,870,089	8,204	2,878,293

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額8,204千円はセグメント間取引の消去8,204千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	158,502千円	148,128千円